

ガステック

NEW!!

検知管式 気体濃度 測定器

学習指導要領準拠(平成14年度から)
理科教育振興法対応(平成14年度から)

ガステックの検知管式気体濃度測定器は**気体の濃度や濃度の微小な変化**を、正確に測定することができます。**理科や環境などの学習**に関わる観察や実験、体験などの充実をはかるために、「**空気の学習用具、大気の学習用具、環境学習用具**」としてお役立てください。

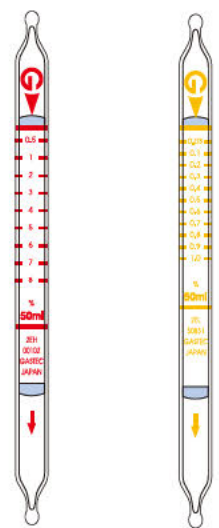


検知管式 気体濃度 測定器

気体採取器

- 酸素検知管31E-2は新型の気体採取器と合わせて使用します。

CO₂



二酸化炭素検知管は気体採取器のハンドルを「50▲▲」のマークに合わせます。



NEW!!

酸素検知管 31E-2

- お求めやすい価格で新登場！
価格：1380円(5回分)

従来の酸素検知管31Eの価格：2300円(5回分)

- 検知管のサイズが小さくなって使いやすくなりました。

新タイプ酸素検知管31E-2は旧型の気体採取器では使用できません。

ハンドルのガイドマークには「50▲▲」と「10▲▲」の数字が片面ずつ印字されています。
酸素検知管31E-2は「10▲▲」のマークを、それ以外の検知管は「50▲▲」のマークを合わせます。

O₂

酸素検知管31E-2は気体採取器のハンドルを「10▲▲」のマークに合わせます。

測定方法

- ① 図のようにチップホルダ上部のくぼみに検知管の先端を入れ、検知管を回転させてチップホルダに内蔵されているヤスリによりきずを付けます。

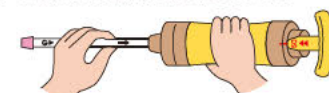


- ② そのまま検知管をたおし、検知管の先端を折り取ります。同様に反対側の先端も折り取ります。

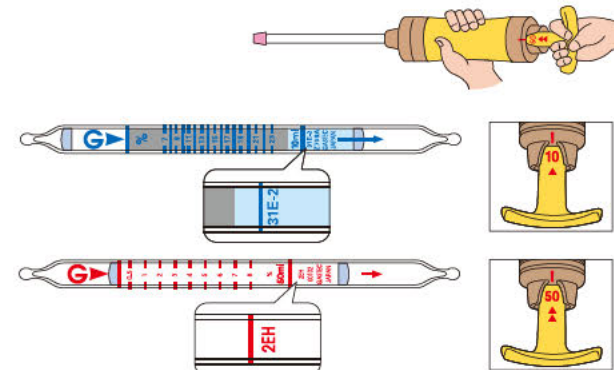
- ③ 折り取った検知管のG▶マーク側の先端には必ず桃色のカバーゴムを取り付けます。(酸素検知管31Eのみ青色のカバーゴムを取り付けます。)



- ④ ハンドルが押し込まれた状態で、検知管の「G▶マーク」と「→」の矢印が気体採取器を指す方向に向けて検知管取付口に差し込みます。



- ⑤ ガイドマーク(赤線)とハンドルのガイドマークを合わせます。ハンドルのガイドマークには「50▲▲」と「10▲▲」があります。酸素検知管31E-2は「10▲▲」のマークを、それ以外の検知管は「50▲▲」のマークを合わせます。



- ⑥ ガイドマークを合わせた状態で、ハンドルをまっすぐ一気に最後まで引きます。固定されますので、ハンドルから手を放し、実験箇所から動かさずそのままの状態約1分待ちます。(酸素検知管31E-2の場合は、約30秒待ちます。)



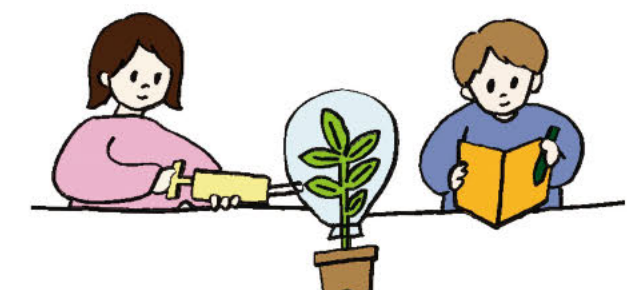
- ⑦ ハンドルに指を掛けながらその位置で90度回して固定を解除します。(この時ハンドルを引かないでください。)ハンドルが戻らなければ測定は終了です。
※ハンドルが戻る時は、測定が終了していないので、その位置からハンドルを90度回して元に戻し、ガイドラインを合わせて、ハンドルを引きます。約10秒後に再びハンドルを90度回します。ハンドルが戻らなければ測定は終了です。



- ⑧ 検知管を取り外し、目盛を読み取ります。

- ⑨ カバーゴムを取り外します。取り外したカバーゴムは再利用ができます。使用済み検知管は回収し、「ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず」として廃棄します。

- ⑩ 気体採取器のハンドルを押し込みます。



実験例

物の燃焼による 酸素・二酸化炭素の変化

ろうそくが燃える前と燃えた後の気体の体積の割合を調べます。



人の呼吸と 酸素・二酸化炭素の変化

はき出した空気は吸う空気(まわりの空気)と違うか調べます。



光合成による 二酸化炭素・酸素の変化

植物は日光に当たると二酸化炭素を取り入れて酸素を出していることを調べます。



関連する内容

〈小学校学習指導要領〉 第6学年

A 物質・エネルギー

(1) 燃焼の仕組み

植物体が燃えるときには、空気中の酸素が使われて二酸化炭素ができること。

B 生命・地球

(1) 人の体のつくりと働き

体内に酸素が取り入れられ、体外に二酸化炭素などが出されていること。

(3) 生物と環境

生物は、水及び空気を通して周囲の環境と関わって生きていること。



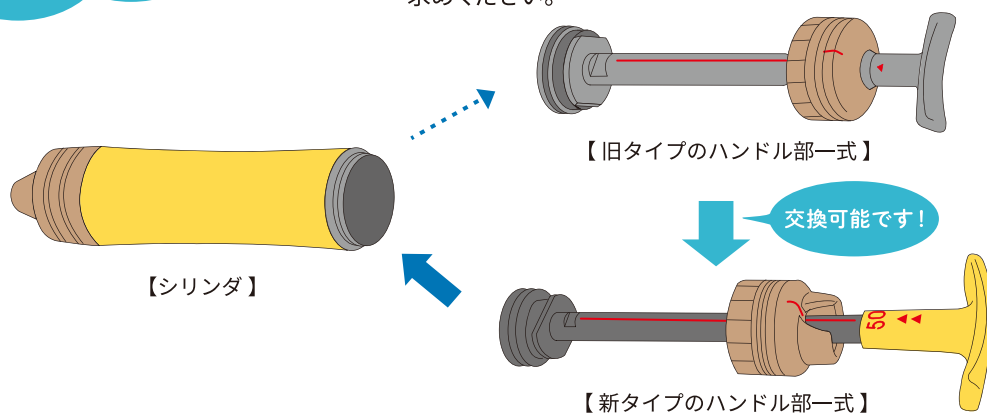
気体採取器セット

気体採取器セット NEW (気体採取器、チップホルダ、シールオイル、 カバーゴム(20コ)、ソフトケース)	14,600円
二酸化炭素検知管(低濃度用 / 10回分) 2EL	2,000円
二酸化炭素検知管(高濃度用 / 10回分) 2EH	2,000円
酸素検知管(5回分) 31E-2 NEW	1,380円
酸素検知管(5回分) 31E	2,300円
一酸化炭素検知管(10回分) 1EL	2,000円
アンモニア検知管(10回分) 3EL	2,000円
硫化水素検知管(10回分) 4EL	2,000円
二酸化イオウ検知管(10回分) 5EC	2,000円
塩素検知管(10回分) 8EL	2,000円
窒素酸化物検知管(10回分) 11EL	2,000円
オゾン検知管(10回分) 18EL	2,000円
チップホルダ 722	2,500円
カバーゴム(桃色・青色 各10コ入) 50P-8	550円
シールオイル(5枚/袋) 50P-7-5	700円
ハンドル部一式 50P-9 NEW	3,000円

価格には消費税が含まれておりません。

お手持ちの気体採取器は
ハンドル部を交換することで
新型の気体採取器として使えます。

新タイプの気体採取器と旧タイプの気体採取器は、シリンダ部が共通ですので、ハンドル部を交換するだけで簡単に新タイプに切り替えることができます。交換の際は、ハンドル部一式 50P-9 をお買い求めください。



●ご使用前に取扱説明書をよくお読みください。 ●性能向上のため、仕様をお断りなく変更することがございます。 ●商品の色は、印刷物のため実際と異なる場合がございます。

このカタログの内容は2024年8月現在です。



あらゆる気体の測定に

株式会社 **ガステック**

SINCE 1970

営業本部: 〒252-1195 神奈川県綾瀬市深谷中8-8-6
電話0467(79)3911(代) Fax.0467(79)3979
西日本営業所: 〒532-0003 大阪市淀川区宮原2-14-14新大阪グランドビル
電話06(6396)1041 Fax.06(6396)1043
九州営業所: 〒812-0066 福岡市東区二又瀬11-9パークサイドスクエア
電話092(292)1414 Fax.092(292)1424
ホームページアドレス: <https://www.gastec.co.jp/>